

# 松山大学大学院言語コミュニケーション研究会

## 第 10 回例会 特別講演会

### JACET 中国・四国支部 秋季研究大会

---

● 日 時： 2018(平成 30)年 10 月 27 日(土) 受付:12 時半～

● 場 所： 松山大学樋又キャンパス H2A 教室

※伊予鉄市内電車環状線「清水町」駅下車、徒歩約 5 分(松山市駅→鉄砲町駅約 20 分)

※大学ホームページ(<http://www.matsuyama-u.ac.jp/>)ご参照のこと

● 参加費： 無料(学内外者問わず)

---

◆研究科長挨拶(13:00～13:05) (松山大学大学院言語コミュニケーション研究科長)

◆特別講演 (13:05～15:00)

題 名： 「英語教育の将来を探る」

講 師： 吉田 研作先生

要 旨： 2020 年度から新しい学習指導要領が始まることを踏まえ、今年度からその移行措置として、小学校から高校までそれぞれが試行錯誤をしながら、新たな目標に応じた取り組みが行われています。

新学習指導要領では小学校高学年で外国語(英語)が正式な教科となり、従来の外国語活動が中学年にシフトします。中学校においては高校と同じように英語の授業は英語で行うことが求められ、高校では小・中で学んだ内容を基に、さらに高い言語活動の実施が求められます。その一方で、各校種や学年に応じた授業内容や評価方法、実施時間や教材の生かし方、教員研修のあり方、国語科との関連など、様々な課題が浮かび上がってきます。大学入試がどうなるのかについても大きな関心事の1つです。2020 年度から大学入学共通テストが始まり、今までの聞く力と読む力だけでなく、書く力と話す力の技能を含む 4 技能を測ることができる民間の検定試験の利用に加え、各大学の入学試験の実施方法や内容にも大きな影響を与えようとしています。

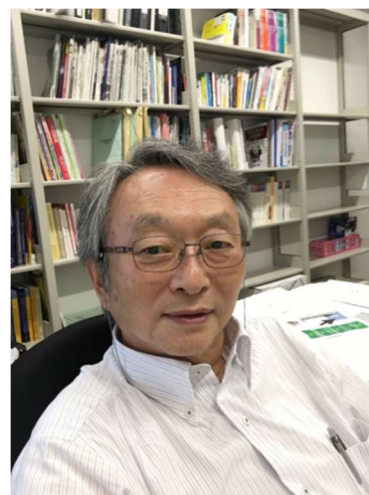
今回の英語教育改革によって、日本の英語教育の何が変わり(何が変わらず)、現在の日本が抱えている様々な問題がどのように解決されるのか(されないのか)、各学校の教員はそれについてどのように対処し、その結果、子どもたちや地域社会にどのような影響を及ぼすのか。今後の日本の英語教育のゆくえを皆様と一緒に考えていけたらと思います。

## 【特別講演講師紹介】

### 吉田 研作(よしだ・けんさく)

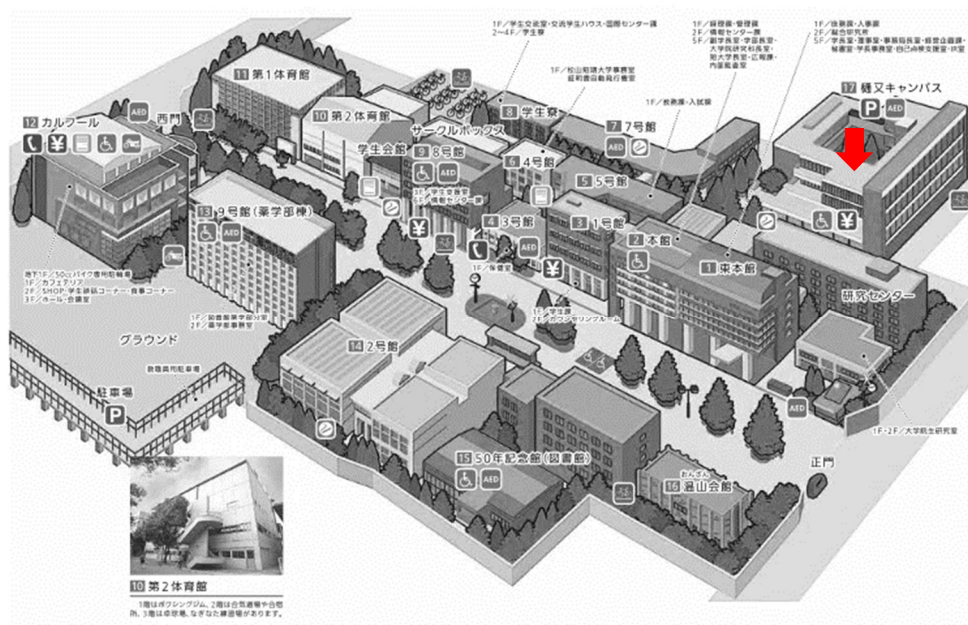
1948年京都市生まれ。上智大学、米国ミシガン大学で学ぶ。

現職、上智大学特別招聘教授・言語教育研究センター長。元上智大学国際言語情報研究所所長、元上智大学外国語学部長、文科省「英語力評価及び入学者選抜における英語の資格・検定試験の活用促進に関する連絡協議会」委員、大学入試センター「英語四技能実施企画部会」部長、「大学入試センター運営評議委員会委員」、「国土交通省航空英語能力証明審査会」会長、「NPO 小学校英語指導者認定協議会」会長、「Asia TEFL」Journal Advisory Board Member」など。



元 The International Research Foundation for English Language Education 理事、元 University of Delaware 客員教授、元 Georgetown University 客員研究員、元「英語教育の在り方に関する有識者会議」座長、元「外国語能力向上に関する検討会」座長、元「CAN DO リストによる学習到達度設定に関する検討会議」座長、元「中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会小学校部会」委員、元「中教審教育課程企画特別部会」委員、元「中教審高大接続システム改革会議」委員、元「中教審外国語ワーキンググループ」主査、元「英語の資格・検定試験とCEFRとの対応関係に関する作業部会」主査、元「東京都英語教育戦略会議」座長、など。その他、1969年から1972年文化放送でアポロ11号から15号の同時通訳。1988年から1993年までNHKテレビ英会話講師。交通文化賞受賞(国土交通大臣賞)、Best of JALT 受賞、など。

## 【キャンパスマップ】



特別講演は非常に混雑が予想されますので、お早めにご来場ください。

(開場 12:30～)

問い合わせ先:

松山大学教務部教務課 大学院言語コミュニケーション研究科担当

電話:089-925-7111(松山大学代表)